

こんにちは **けんしん** です。

ごあいさつ



理事長 青木 和夫

平素は、滋賀県信用組合(けんしん)に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

ディスクロージャー誌「けんしんの現況2021」を作成いたしましたので、ご高覧賜り、当組合に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

令和2年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているとされています。しかし、年明けの新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の再発令を受け、外出自粛が強まったことで、外食や宿泊、娯楽などサービス消費が落ち込み、個人消費が減少し、持ち直しの実感が持てない状況となっています。

こうした中、当組合においては、第3次経営強化計画の初年度として、本来の特性である地域密着型金融に積極的に取り組み、地域の皆様に信頼され存在感のある金融機関を目指し、安定的な金融仲介機能の強化に取り組むとともに、収益性改善に向けて全役職員が一丸となって取り組んでまいりました。

その結果、預金・貸出金とも、順調に推移し前期比大幅に増加する中、金融機関の本来の実力を示すコア業務純益は209百万円を計上、最終利益も221百万円を確保することができました。皆様のご支援に感謝を申し上げます。

令和3年12月15日で当組合は創立70年を迎えます。「おかげさまで70年これからも地域の未来を応援します！」をスローガンに掲げ、より一層地域の皆様のご期待に添えるべく取り組んでまいります。

地域の皆様に寄り添う最も身近な金融機関として、資金繰り相談・支援に努め、地域経済の活性化の一助となることを目指してまいります。今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和3年7月

理事長 青木 和夫